

仕様書

第1 総則

この仕様書は、田園調布中央病院(以下「当院」という)が購入する救急車の一切に適用する。

1 目的

この車両は、患者に対し、車内で必要な救命処置を行うと共に、病院への救急搬送を行うことを目的とする。

2 車両条件

- (1) 納入場所である当院が使用する救急車として特別架装を施した車両であること。
- (2) 車両は普通免許で運転可能な車種とすること。

3 納入期限及び納入場所

- (1) 納入期限 令和7年3月31日(月)
- (2) 納入場所 田園調布中央病院

4 その他

- (1) 受注者は、車両の制作、車検登録等を行い、車両を運用可能な状態で納入すること。
また公安委員会への緊急車両申請等、病院が行う行政手続きについて十分なアドバイスをすること。
- (2) 受注者は、納入時に車両及び搭載機器の点検整備、使用方法について十分な説明を行うこと。
- (3) 製作は、使用目的を十分に達成するため誠意をもって行い、仕様及び内容に疑義が生じた場合は、その都度速やかに当院担当者と協議を行い決定すること。
- (4) 納入時、燃料を10L以上入れた状態で納車すること。

第2 車両仕様

1 車両構造

- (1) 形状はワンボックス型5ドア、超ハイルーフ、ワイド幅、スーパーロング型とする。
- (2) 車両後方でストレッチャー収納時に直接排気が掛からない構造とすること。

- (3) 振動や衝撃等を十分緩衝できる車体とし、あらゆる走行条件に対して安全で、且つ、安定性を有するものであること。
- (4) 車体前部に運転室、後部に患者室がある構造とし、運転室の両側面と患者室の左側面に乗車口、後面にストレッチャー等の搬入口を設けること。
また車体後面にすべり止め付き大型リヤステップを設けること。
- (5) 後面ドア内側にロングタイプのストラップを設けること。

2 主要諸元

この車両の主要諸元は、次に掲げるものとする。

- (1) 乗車定員 7名以上
- (2) エンジン ガソリンエンジン
- (3) 総排気量 2,600cc 以上
- (4) 最高出力 110kW 以上
- (5) 駆動方式 フルタイム4輪駆動方式
- (6) 変速装置 6速以上のオートマチック車
- (7) 安全装置 衝突被害軽減ブレーキ付
- (8) 燃料 レギュラーガソリン
- (9) 燃料タンク 70ℓ 以上
- (10) 車両寸法（突起物を除く）
 - 全長 5,700mm 以下
 - 全幅 1,900mm 以下
 - 全高 2,600mm 以下（アンテナ等は除く）
 - 室内寸法
 - 室内長 4,400mm 以上
 - 室内幅 1,650mm 以上
 - 室内高 1,850mm 以上

3 緊急車両用設備

- (1) 車両屋根前後部にビルトイン式の大型散光式赤色警光灯(LED)を設置すること。
なお、大型散光式赤色警光灯は活動状況により発光が3パターン変わること。
- (2) LED 赤色点滅灯を以下の位置に取り付けること。
 - ① 車両前面部 左右 計2灯
 - ② 後面ドア下端 停止表示灯 計2灯（扉解放時に後方向きとする）
- (3) 車両内蔵式の電子サイレン兼スピーカーを設けること。
- (4) 大型散光式赤色警光灯、赤色点滅灯、電子サイレン兼スピーカーの操作は、運転室に電子サイレンアンプを設置し、操作が行うことができること。

また電子サイレンアンプは4種類以上の音声再生機能があること。またフェードインフェードアウト機能、ハンドマイク及び運転席用フレキシブルマイク付きとする。

4 電装関係

- (1) フォグランプを設置すること。
- (2) 外部へ後退を知らせるブザーを設けること。
- (3) 外部からの AC100V 電源の入力を受け、バッテリーの充電ができる自動充電装置を設置すること。自動充電装置は車両用メインバッテリーを全自動で充電できるものとし、過充電が起こらないこと。充電時にバッテリーからのガスが車内に流出しない構造とすること。
- (4) AC100V 外部電源入力端子を車体側面に設けること。端子は未使用時に雨が入らないようにすること。AC100V 用入力電源ケーブルを1本付属させること。いずれかの電源入力中には、エンジンがかからない構造、またはインジケータランプを設けること。
- (5) メインバッテリーには出力 300W 以上のインバーターを接続し、患者室に AC100V を供給すること。また室内コンセントは3ヶ所6口以上とする。
- (6) 患者室内の AC100V 出力コンセントについては、外部から AC100V 電源の入力がある時はこれを優先すること。
- (7) 患者室に以下のスイッチをまとめた集中スイッチパネルを設けること。
 - ① 患者室灯
 - ② 患者室換気扇
 - ③ その他、指示されたスイッチ

5 運転室

- (1) 運転室には運転席及び助手席を設けること。座席はシートベルト付とする。ナビゲーションシステムを設置すること。またナビゲーションモニターと兼用して前後左右モニター、TV、AM・FMラジオ等の使用ができること。
- (2) 走行中後方映像を表示できるバックミラーを設けること。
- (3) 床はメーカー標準仕様とし、フロアーマットを敷くこと。
- (4) サイドバイザーを左右両側ドア上部に取り付けること。
- (5) ETC 及びドライブレコーダー（前方及び後方撮影）を設置すること。
- (6) フロントアンダーミラー及び左ミラー上部に補助ミラーを設置すること。

6 患者室

- (1) 室内配置は以下の通りとする。
 - ① 右側面前部に縦型扉付収納（棚板2枚付き）
 - ② 縦型扉付収納の後ろに、後ろ向き1人掛け座席

- ③ 右側面に 10L×2 本分の酸素ボンベ固定金具を設けること。
 - ④ 中央中部から後部にかけてストレッチャー搭載用防振架台
 - ⑤ 左前にパーテーションボードと収納庫（消毒剤固定ベルト付）
 - ⑥ 左側面中部に前向き 1 人掛けハイバック座席
 - ⑦ 左側面後部に横向き 2 人掛け以上の座席
- (2) エアコン吹き出し口を設けること。またヒーターを設置すること。ヒーターの風は搬送患者に直接当たらないこと。
 - (3) 床は防水ボードであること。周囲はコーキング処理をすること。（ブチルテープやゴムパッキンは不可とする）
 - (4) 左右のドアはスライド式とし、左側乗車口は乗降用の手すりを設けること。
 - (5) 患者室の全ての窓ガラスはプライバシーガラスとする。左面と後面は 2／3 を曇りガラス仕様とする。右面には、白色フィルムを貼りとする。
 - (6) 患者室の左側面及び後面窓ガラスにカーテンを取付けること。
 - (7) 縦型扉付収納庫は、左右両側に扉があり 2 段の棚板を設けること。
 - (8) 縦型扉付収納庫横に酸素ボンベ収納庫を取付けること。酸素ボンベ収納庫は右側スライドドアより酸素ボンベが交換出来ること。また、上部吸引器固定装置と 2 段式収納引出し、汚物入れがあること。
 - (9) 酸素ボンベから、減圧弁、三方チーズを介してオキシパックに接続し、酸素吸入マスク及び、人工呼吸器が使用できる構造とすること。
 - (10) 左側面スライドドア、後面ドアに半ドア防止機能を設けること。
 - (11) 右側面には搬送用資材を固定できる大型収納庫を設置し、上面には当院が指定する医療器機類の固定装置及び電源を設けること。
 - (12) ルーフサイド部の右側面に扉付きの収納を設けること。
 - (13) 右側面に電波時計及び酸素マスク収納トレイを設けること。
 - (14) 天井に患者室大型室内 LED 灯及び角度調整機能付患者灯を設けること。
 - (15) 天井にルーフネットを設けること。
 - (16) 後方右上に換気扇を設けること。
 - (17) 天井の前後方向にアシストグリップ用レールを設けること。
 - (18) 左側面の横向き座席の下部に収納を設けること。
 - (19) 点滴瓶固定装置（2 連）をストレッチャー上の患者の下肢の上に相当する位置に設けること。
 - (20) 後面ドア内側に、扉解放時に下方を照らす照明を設けること。また ON/OFF スイッチを付近に設けること。
 - (21) 後面ドア左側に大型乗降用手すりを設けること。

7 ストレッチャー

- (1) ファーノ社製のロールインストレッチャースカッドメイト 9304 とし、車両にスムーズに搭載できるよう防振架台を設けるものとする。また防振架台には脱落防止装置を設けること。
- (2) 点滴ポール（1 本）が付属していること。

8 車両塗装及びデザイン

車体の塗色は白色とし、赤帯は反射材ステッカーを貼り付けること。

なお、車体のデザインについては当院担当者と別途協議し承認を得ること。

第3 車両付属品

以下の品を車両に付属させて納品すること。

- 1 ホワイトボード 1 個
- 2 消火器 1 個
- 3 バックブザー 1 式
- 5 スペアタイヤ 1 本
- 6 スタットレスタイヤ（ホイール付き） 4 本
- 7 車両キー リモコン付 3 本、リモコン無し 2 本 計 5 本
- 8 ジャッキ/ホイールナットレンチ 1 式
- 9 車輪止め 2 個